

はまぎん Global Challenge(プロポーザル型) 募集要項

1. 趣旨	世界に羽ばたくグローバル人材を育成するため、自らの課題をもって海外へチャレンジする学生を支援します。
2. プログラム概要	留学、インターンシップ、ボランティアなどを活用して、学生が自ら課題と目標を設定し、その解決に向けた計画を立案する起業家マインドを持つ学生等を選抜し、支援します。（ <u>大学公式プログラムは除く</u> ）【学部生・院生対象】
3. 応募要件	出発時に本学学部2年次以上または大学院1年次後期以上に在籍する学生（学部・研究科問わず）で、PEを取得しており、本プログラム参加に十分な能力と適性のあるもの、かつ、他プログラムの支援を受けないもの ※PEを取得していない大学院生はTOEFL500点、TOEFL iBT61点、TOEIC600点以上
4. 渡航期間	学生が立案した計画に基づく渡航期間 ※ただし令和8(2026)年4月～令和9(2027)年3月までに渡航を開始すること
5. 補助金等	選考委員会にて合格者を決定し、学生の渡航期間により下記の金額を支給します。 1か月当たり20万円（最大10か月まで） ※アジア地域は1か月当たり15万円とします
6. 募集人数	2名
7. 身分	渡航期間が3か月以上の場合は休学となります。 ※本学の学籍は「休学」となり、修業年数に算入されません。
8. 学費	休学期間のうち前期又は後期の全期間にわたり休学となる場合、当該期間の授業料は免除となります。（学期の途中から休学した場合、当該期の授業料がかかります）
9. 海外旅行保険	危機管理上、海外旅行保険等は以下のとおり指定のものに加入すること。以下のもの以外は認められません。 ①学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」、金額は最大3,300円（4年間分） 医学部は最大4,800円（6年間分）） ②大学の指定する海外旅行保険：103,930円（10ヶ月の場合） ③トータルアシスタンスサービス（24時間365日体制の海外危機管理）：22,265円（10ヶ月の場合） ※②③は合格決定後大学で加入手続きを行います ※上記金額は2025年度の金額を基に算出した目安です。情勢等により金額は変動します。

10. 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡航の目的、渡航先での学習計画を具体的に、出願書類を作成すること。 ・ 保護者と十分に相談の上、渡航中の資金計画を立てること。 ・ 渡航中の活動や、帰国後の修業計画について、指導教員に十分相談の上、出願すること。 ・ 留学・インターンシップ・ボランティアなどの活動先や、滞在先等は全て自身で手配すること。 ・ 渡航にあたっては自主的に準備に取り組む必要があります。実際のビザ等の手続きも含め、自分自身が責任をもって行うべきであり、手続きの不備等で渡航が中止となった場合の責任は自身のものとなると同時に、補助金も返金となることについて認識を持つこと。 ・ 合格となった場合には、原則として辞退することはできません。 ・ 合格となった場合においても、申告に虚偽があった、書類提出の締切を守らない、必要な手続きを行わない、オリエンテーションに事前連絡なく欠席・遅刻する等のふるまいが見られた場合、グローバル教育推進委員会もしくはグローバル推進室が判断の上、渡航中止の勧告・警告もしくは決定を行う場合があります。 ・ 本プログラムの合格後、もしくは渡航後でも現地治安や衛生状況の悪化その他特別の事情により、渡航もしくは滞在に問題が生ずるとグローバル推進室が判断する場合、渡航の延期、中止や現地からの退避を指示する場合があります。この場合、速やかに当室からの指示に従ってください。 また、外務省・海外安全HPにて、感染症危険情報及び危険情報でレベル2以上が発出されている国への渡航はできません。 ・ 昨今の円安基調や物価高により、航空券や宿泊費用が高騰しています。 一方で、大学として学生の皆さんの安全性を確保するため、LCC（ローコストキャリア）の航空券や安全ではない地域の宿舎を利用することは禁止しています。 学内選考通過後は、渡航までの間に航空券や宿舎を探していただきますが、安全面をはじめ、本学が求める各種要件を満たす航空券や宿舎を手配するために、ご自身の予算を大幅に上回る支出が発生する場合や、予算と折り合いがつかず航空券や宿舎の手配ができない結果、プログラムに参加できなくなる可能性もありますので、その旨ご了承の上、お申込みください。 申込みの前には、航空券や宿泊費についておおよその程度かかるのかご自身で調べるとともに保証人の方にも確認いただくようお願いいたします。 ・ 文部科学省が主催する「トビタテ！留学JAPAN」奨学金制度との併給は不可となります。本プログラムに合格した場合は取下げていただきます。 ・ 生成系AI（Chat GPT等）を利用して応募書類を作成することは認めません。
11. 応募書類等	<p>（１）活動計画書 渡航スケジュール、渡航先国、期間、必要金額（推定）、活動先毎の活動詳細等について写真、画像、グラフ等を使って自由に記述する。記載分量はA4用紙2枚までとすること。</p> <p>（２）志望理由 ①自ら設定した課題と目標およびその理由、②なぜ海外で活動するのか、③活動期間中に特にチャレンジすること、④活動期間後の展望 について、A4用紙に合計1500字以上で記載する。自由様式。</p> <p>（３）自己アピール A4用紙に、①大学での生活において目標に向けて努力した経験とそこから学んだこと、②留学等によってどんな自分になりたいか、③帰国後の本学・後輩への還元、をそれぞれ500字以上で記載する。自由様式。</p> <p>（４）パスポートの写し（A4にて印刷すること。カラー、白黒どちらでも可。）</p> <p>（５）語学力証明書（英語、もしくは活動先の言語のもの）</p> <p>（６）活動計画の実現可能性を示す書類（任意）</p> <p>活動先機関からの受入許可証や、接触が始まっていることがわかるメール文等、活動計画の実現可能性を証明できる文書がある際には加点対象とします。</p>
12. 応募締切	令和8(2026)年1月9日(金)正午 厳守（郵送不可）
13. 書類提出先	プログラム申込Formsにてアップロードし、ご提出ください。 ※申込FormsのURLは、HPIにて公開します。
14. 選考方法	一次審査は提出書類、成績、語学力証明書、書類選考により総合的に判断します。一次審査合格者を対象に面接審査（二次審査）を行い、はまぎんGlobal Challenge選考委員会にて選考します。
15. スケジュール	面接予定日：2026年2月16日～18日のいずれかの日程（※一次審査合格者に別途連絡） 合格発表予定日：2026年2月25日
16. 帰国後の活動	帰国後は、報告書の提出や次期応募学生向けの説明会、オリエンテーション等へ参加するとともに大学プログラム経験者として広報活動に協力して頂きます。